

第3回臂曲岩石採取事業監理委員会の概要

日 時 平成24年4月23日 10:00～11:30

場 所 しらい自然館

出席委員 地元集落等委員：8人、川越工業：4人、山形県：5人、遊佐町：3人
計20人 傍聴者：なし 報道関係者：1人

内 容

1. あいさつ

遊佐町：今年の採石計画について、委員会での確認をさせていただきたい。課題を持ち寄って議論する場として、今年もご協力をよろしくお願ひしたい。

山形県：地域での諸活動に対して厚く敬意を申し上げる。昨年、福島の採石場の放射能汚染が大きな社会問題になり、採石業が地域社会に広く関わっていることを再認識した。地域の自然環境・景観も大切な資源であり、双方とも重要である。本会の協議で良好に調整されることを期待する。

山形県：監理委員会は、関係者が一同に会して対等な立場で情報交換・意見交換する場である。解決すべき課題が生じた場合に活用をいただきたい。お互いの信頼関係が大切と考えている。

川越工業：ご多忙のところご出席いただき御礼申し上げます。今は作業開始に向けて準備をしている。本格的な操業は5月の連休明けからと計画している。スムーズな事業ができるように誠心誠意努めていくので、意見交換をよろしくお願ひしたい。

2. 協 議

(1) 山形県の巡回、指導状況について

資料に基づき山形県が説明。

委員：今年も大雨があると思うが、濁水対策について対策は講じられたとあるが、その実効性の確認はされたのか。

山形県：濁り水が採石場外に流出しないよう対策を指導し完了している。巡回した状況では場外流出発生はなかったと認識している。

委員：地元では大雨時に泥水が流れてきており、認識にズレがある。泥水発生から現場到着まで時間がかかることから、認識が違うと考えている。透明度の許容範囲はあるのか。

山形県：巡視員が目視により確認していきっている。2週間に一度の巡視では特に異常は見つからなかったと報告を受けている。濁水が発生した場合などは、連絡をいただきたい。

委員：休日や夜間など連絡できない場合もあり、歯がゆい思いをしている。地元が安心できる状況になっていないと思っているので、真摯に対応願ひたい。

山形県：事業が行われない冬場も巡回し監視していた。今後も2週間に1回程度の巡回を継続し、また巡回時でなくとも、何かあれば連絡をいただき対応する考えである。

川越工業：横堰が沢と合流するので、バイパスの施工を検討したときもあったが、横堰の管理者もいることなので、なお検討するとしてきた経過がある。

委員：濁水期には沢水も横堰に導く必要があり、簡単にはいかない。沢から水があふれ道路を洗うときもある。

遊佐町：移動沈砂池を多く作っていただきたい。

川越工業：沈砂池は設置基準の倍以上にし、かつ2段にしている。

遊佐町：大雨の時は泥水が流れないように、時に気をつけていただきたい。それぞれの立場で対策をお願いしたい。

川越工業：堆積しているところの土側溝や、側溝に堆積した土砂の掘り出し作業を今の時期に行うと、泥水が発生する。施工の次期についてどうすればいいだろうか。

委員：6～7月よりは今の時期の方がいいのではないか。

遊佐町：できるだけ天気のいい日に作業していただきたい。作業するときには総合支庁に連絡していただきたい。

(2) 平成23年度の採石状況、平成24年度の採石計画について

川越工業：震災の影響で仕事量が減少した。4月～10月までの採石量は12,075 m³、重量にして約31,000 t。ダンプの稼働は、3～4台/日となっている。4月は21 m³、9～10月は100 m³の搬出。

遊佐町：最上部の採石は終了したのか。

川越工業：上部は両側から採石しているが、一番上のところはまだ終わっていない。今年取りかかる。今年の予定は、5月連休明けからの本格操業で、4月は1,000 m³（計画どおりには進んでいない）、5月4,000～5,000 m³、6～8月は各5,800 m³、9～10月1,600 m³、年間計画で26,628 m³としている。

ダンプの運行計画は、4～5月：5台×6回×23日、6～8月：6台×6回×23日、9～10月：4台×6回×10日、としている。

23年度の実績は、全体計画の5～6%程度の進捗状況である。採石した岩石がすべて搬出とは限らない。昨年は搬出が少なかったが、今年は例年の水準になると考えている。

これから農繁期になるが、運搬ルートはこのまま（中村～袋地間の町道）でよろしいか。

遊佐町：岩野集落としてはどうか。

委員：7～8月の搬出の多い時期は配慮が必要と思うが、まずは計画どおりでいいの

ではないか。去年は早朝 5 時頃から作業を開始したときがあり、うるさいとの苦情があった。また、トラック運転のマナーが悪いとの指摘もあったので、充分注意いただきたい。

(3) 地下水脈等調査の状況について

遊佐町が資料をもとに説明。

川越工業：今年中に最終の結果がでるのか。

遊佐町：その予定である。報告会を実施するときは今後も会社に連絡する。この調査とは別に、阿曾石材が所有していた胴腹滝上部の土地約 14 町歩を町が購入した。JA 等の協力を得ながら、森と水を守るために植林活動をしていきたいと考えている。

(4) その他

(作業時間の繰上げについて)

川越工業：搬出は 7 時～17 時としているが、作業効率を上げるために掘削開始を搬出 1 時間前の 6 時からとさせていただけないか。

委員：去年、朝 5 時からの操業開始したときに騒音の苦情があった。

川越工業：苦情がでた場合はその都度対応する。連休明けからさせていただきたい。大きな騒音が発生するブレイカー作業は通常の時間帯でおこなう。搬出の前作業として、6 時なり、6 時半なりで理解願いたい。

委員：地元の住民からすれば、音イコール仕事開始であり、はっきりわかること。

川越工業：会社で騒音を調査しながら対応を検討していきたい。

遊佐町：問題が起きたときは、また集まっていただくことになる。作業時間を早めるときは事前に連絡していただきたい。

委員：我々が集落を代表して意見をまとめてきたわけではないので、この場で OK とは言えない。

遊佐町：朝早く作業をやりたいとなったときは、地元で連絡をいただきたい。朝よりは、夕方の残業の方が理解を得られるのではないか。

川越工業：会社としては、暑くなる季節なので朝の涼しい時間帯での作業に理解をお願いしたい。

遊佐町：いずれにしても慎重な対応をお願いしたい。

(登山道について)

遊佐町：付け替えした登山道について、雨が降ると滝のように水が流れてくるとの話しがある。雨が降った時の状況を確認していただきたい。

川越工業：どこの部分かはっきり分からないので、現場を確認して対応を考えていき

たい。

(次回監理委員会について)

遊佐町が次回は8月上旬頃としたい旨を提案。

川越工業：8月上旬となると操業のピークとなるかも。監理委員会の議題について、担当者レベルで事前協議する機会があればありがたい。

山形県：事前に少人数で集まって議題を協議することも重要だと思う。

川越工業：通知では「協議中」との記載であった。議題を事前に明確にしていきたい。

遊佐町：改善する。次回は、現場の確認などおこないたい。

委員：例年になく大雪だったので、県からは法面の崩落など採石場への影響をチェックしていただきたい。

3. 終了 11:30

以上

